

乗務員教育記録簿用紙

西北交通株式会社

乗務員への指導・監督の記録

実施月日	令和 8 年 4 月 3 日
時 間	8 時 4 分 ~ 10 時 0 分
場 所	北上本店営業所

検
印

非公開

営業所名 北上本店営業所 矢中営業所

非公開

【一般的な指導事項】

- ① 事業用自動車を運転する心構え
- ② 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③ 事業用自動車の構造上の特性
- ④ 乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤ 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥ 主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧ 運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨ 交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩ 健康管理の重要性
- ⑪ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対して
ドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬ ⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
- ⑭ 非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

※ バスを運転する心構え

1 バス 事業の公共性と重要性

(1) バス 事業の社会的役割

バス事業は、約40億人を輸送する公共交通機関としての社会的な役割を担っており、利用者のニーズに応じた形態で運行されています。ノンステップバスの導入が進んでいることから、高齢者などにも多く利用されていることを認識させましょう。

① 公共輸送機関としての社会的役割 ② 地域にとって不可欠なサービス

③ 高齢者や障がい者等の乗降がしやすい

(2) バス運転者の使命

バス運転者は、公共交通輸送の一翼を担う重要な役割を果たしているとともに、バリアフリーな交通機関として高齢者や障がい者等の移動制約者の外出機会を支えているなど、社会的使命を担っていることを認識させましょう。

① 「地域の足」を支えるプロのドライバー ② 安全な輸送を担う

③ バリアフリーな輸送を担う

2 バス事故の社会的影響

○ 乗合バス

乗合バスの事故は、車内事故が多く、その過半数が高齢者となっています。急発進や急停止などの運転で、事故を招いていることを認識させましょう。

○ 貸切バス

貸切バスの事故は、追突事故が多くなっています。乗客の安全性が失われるだけでなく、社会にも大きな影響を及ぼすことを認識させましょう。

① バス事故の特徴 ② 事故の重大性の認識 ③ 「事故を起こさない」信念を持つ

裏面へ

3 安全運行の心構え

バス運転者は、プロの運転者であるからこそ、模範となる運転者として、他の運転者の手本となるべき、安全でマナーの良い運転を心がけることが必要であることを理解させましょう。

- ①思いやりと譲り合いの気持ちを持つ ②油断や過信をしない ③急ぎやあせりを抑える
④カッカしたり、カリカリしたりしない ⑤エコドライブの励行

※ 4月の重点管理（新入社員の交通事故防止に取り組む）

【新入社員の交通事故防止】あせらず 急がず安全確認

- 運転者にあわせた教育・指導を行う。

新入社員の運転適性や配属先の運行実態、使用車両等を考慮した安全運転教育・指導を実施する。

- 同乗指導を実施する。

管理者が運転者の車に同乗し、基本的な運転操作ができているか、危険な運転行動がないかなどを認識して適切なアドバイスを与える。

- 社内運転免許制度を導入する。

社内運転免許制度を設けることで、社有車の運転に責任を持たせて事故・違反の削減を図り、会社全体の運転レベルの向上を目指す。

指導・教育の内容

非公開